

愛岐トンネル群開放

多治見市―愛知県春日井市間に残る旧国鉄中央線廃線跡の一部を巡る散策会が二十一日始まり、歴史遺産を見ようと、初日は五千二百人の来場者でにぎわった。二十三日まで開かれ、午前十一―午後三時まで入場できる。雨天中止。

(志村彰太)

写 探偵団

特定非営利活動法人(NPO法人)「愛岐トンネル群保存再生委員会」(事務局・春日井市)の主催。現存するれんが造りのトンネル十三カ所のうち、民有地の三―六号トンネル部分を歩く。約一・五キロの道のりで枕木はないが、敷石が残り線路の名残がうかがえる。

三―四号トンネルでは、赤く色づいたモミジが出迎える。自然と人工



愛岐トンネルの今昔を紹介した写真(見入る来場者)いづれも愛知県春日井市で

多治見―春日井 旧国鉄中央線廃線跡を散策

物の共演を楽しめるほか、トンネル群の今昔を写真で紹介する展示も。トンネル内では即席のコンサートも開かれ、楽器の音が反響して独特の雰囲気醸す。要所ごとに休憩所が設けられ、参加者はベンチに座りながら庄内川の絶景に見入っていた。

事務局の村上真善さんは「大盛況だが混雑が激しく、残りの二日間は入場制限を検討しなくては」と話していた。会場は、JR中央線定光寺駅を降りて庄内川沿いを歩いて五分。懐中電灯の持参を。

事務局の村上真善さんは「大盛況だが混雑が激しく、残りの二日間は入場制限を検討しなくては」と話していた。会場は、JR中央線定光寺駅を降りて庄内川沿いを歩いて五分。懐中電灯の持参を。



㊤散策路から望む庄内川(土岐川)
㊦トンネル内ではコンサートも



赤く色づいたモミジで彩られた散策路